

「大学院ヘルスバイオサイエンス研究部」を「大学院医歯薬学研究部」に改組

2015(平成27)年4月

2004(平成16)年4月に医学、歯学、薬学の大学院を統合した形で発足した「ヘルスバイオサイエンス研究部」の名称を、2015(平成27)年4月から「医歯薬学研究部」に変更した。併せて英語名称も変更し、「The Institute of Biomedical Sciences」から「Graduate School of Biomedical Sciences」と変更し、新しいロゴマークを選定した。

さらに分野の部門配置も、医科学部門(5系41分野)、口腔科学部門(3系26分野)、薬科学部門(4系20分野)、栄養科学部門(1系8分野)、保健科学部門(3系24分野)にまとめ、新しく産官学連携部門(2系、9分野)を加えて、学部との一体的な配置として解りやすく改組した。

名称変更の目的は、①漢字を使った研究部名称を採用し、医学・歯学・薬学からなる一大生命科学・医療研究の拠点であることを、外部から解りやすくするため、②同様に、医学、歯学、薬学が混在している部門・講座の配置

を、解りやすい部門・系に配置にするため、③現在進んでいる大学改革プランに並行して研究部組織の改革を加速する必要性から、将来の再編に備える体制を作るため、④医歯薬学研究部をさらに発展させるため、教員・職員の人心の一新を図る意味から、名称からリフレッシュすることが必須であるため、などであり、教職員の理解を得て変更した。

すでに医歯薬学研究部では、医科学、栄養生命科学、口腔科学、薬科学、保健科学の5研究科の横断的な研究体制は定着し、積極的に研究の交流や共同研究が推進され、特に教育クラスターによる研究者の交流や小豆島リトリート、共同でのシンポジウム、市民公開講座などを開催して、統合の成果は大きいものがあるが、生命科学・医療研究の一大拠点としての存在を国内外から広く認知されるよう、今後も尽力していく。



教員・教育組織 Teaching Staff and Educational Organization

